



市議会だより

発行

各務原市議会

岐阜県各務原市那加桜町1-69
電話058-383-2001

編集

市議会だより編集委員会

かかみがはら



消防出初式の分列行進（1月9日）

12月定例会

主な議案説明	2	2カ所の土地取得は違法ではないか	7
審議結果	3	平成23年度予算要望書より	7
委員会審査	4	市政を問う 一般質問	
委員会調査報告	5	水道部門が本庁舎などに移転	8
市政を問う 会派の代表質問		NHKドラマ「恋するキムチ」	9
夢ある都市	6	公共施設に太陽光発電の推進を	10
老朽化した公共施設の整備を	6	市民の声、議会素描	12

平成22年度一般会計補正予算

2億3960万円を追加

子宮頸がん等ワクチン接種助成事業など

平成22年第4回定例会(12月定例会)を11月26日から12月17日の22日間の会期で開催しました。

今期定例会に市長から提出された議案は、平成22年度一般会計補正予算をはじめとする24案件で、委員会、本会議を経て、いずれも原案のとおり可決しました。

なお、最終日に市長から補正予算の議案が2案件提出され、原案のとおり可決しました。

第4回定例会に市長から提出された議案は、

- ・ 予算の補正 6件
- ・ 条例の改正 13件
- ・ 一部事務組合からの脱退 1件
- ・ 指定管理者の指定・指定の変更 3件
- ・ 市道路線の認定・廃止 3件

の合計26案件です。

主な議案内容は、次のとおりです。

平成22年度補正予算

一般会計補正予算(第3号)

住民税非課税者に対する

- 歳出の主なもの
- ・ 職員給与費等(減額) 4億6319万3千円

- ・ 繰越金
- ・ 繰入金(減額) 6億円

- 歳入の主なもの
- ・ 国庫支出金 1億9781万8千円
- ・ 県支出金 1440万3千円
- ・ 繰入金(減額) 6億円
- ・ 繰越金

- ・ 3億3834万3千円
- ・ 予防接種事業費 6841万3千円
- ・ 市道稲676号線道路改良事業費 1億1696万円
- ・ 浜見公園整備事業費 9616万3千円
- ・ 幼稚園就園奨励助成事業費 3221万1千円

- ・ 3億3834万3千円
- ・ 予防接種事業費 6841万3千円
- ・ 市道稲676号線道路改良事業費 1億1696万円
- ・ 浜見公園整備事業費 9616万3千円
- ・ 幼稚園就園奨励助成事業費 3221万1千円

その他の議案

福祉センター条例の一部改正

蘇原コミュニティセンターの設置に伴い、施設名称及び位置などを改めるものです。

なお、同センターは蘇原市民サービスセンター、蘇原北福祉センター、蘇

原第一小学校児童保育室、そはら子ども館の複合施設となります。



建設中の蘇原コミュニティセンター

部設置条例の一部改正

組織の見直しに伴い、「環境部」と「水道部」を「環境水道部」に改め、下水道に関することは都市建設部の所管とするものです。

岐阜羽島衛生施設組合からの脱退

平成23年3月31日限りで川島地区のごみ、し尿の処理をしていた岐阜羽島衛生施設組合から脱退するものです。

平成23年4月1日から、川島地区のごみ、し尿は、すべて市の施設で適正に処理します。



新規格のごみ袋 (イメージ)

廃棄物の処理および清掃に関する条例の一部改正
 一般廃棄物の処理に係る手数料などを改めるものです。
 平成23年度から、家庭用の燃やす指定ごみ袋の規格、材質を見直し、入れやすく、持ちやすく、縛りやすいレジ袋タイプなどへ変更します。
 規格、材質を変更することにより製造コストを下げ、一方で、販売価格はそのままとし、差額をごみ処理手数料(大3円/枚、中2円/枚、小1円/枚)とし、市の収入とします。
 手数料は、今後の環境施策経費として活用を予定しています。
 なお、現在のごみ袋は、平成24年3月31日まで使用することができます。

審議結果 (12月定例会)

○22年度一般会計補正予算(第3号).....	原案可決・賛成多数
○22年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号).....	原案可決・全会一致
○22年度下水道事業特別会計補正予算(第2号).....	原案可決・賛成多数
○22年度水道事業会計補正予算(第1号).....	原案可決・賛成多数
○部設置条例の一部を改正する条例.....	原案可決・賛成多数
○外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する 条例の一部を改正する条例.....	原案可決・全会一致
○出張所設置条例の一部を改正する条例.....	原案可決・全会一致
○福祉センター条例の一部を改正する条例.....	原案可決・全会一致
○学童保育室条例の一部を改正する条例.....	原案可決・全会一致
○保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例.....	原案可決・賛成多数
○子ども館条例の一部を改正する条例.....	原案可決・全会一致
○廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例.....	原案可決・賛成多数
○手数料条例の一部を改正する条例.....	原案可決・全会一致
○歴史民俗資料館条例の一部を改正する条例.....	原案可決・賛成多数
○水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例.....	原案可決・賛成多数
○岐阜羽島衛生施設組合からの脱退.....	原案可決・全会一致
○公の施設の指定管理者の指定(学びの森駐車場ほか7施設).....	原案可決・賛成多数
○公の施設の指定管理者の指定(高齢者生きがいセンター川島園).....	原案可決・賛成多数
○公の施設の指定管理者の指定の変更.....	原案可決・全会一致
○市道路線の認定(市道鶉1333号線ほか1路線).....	原案可決・全会一致
○市道路線の廃止及び認定(市道鶉321号線ほか2路線).....	原案可決・全会一致
○市道路線の廃止及び認定(市道蘇北433号線ほか3路線).....	原案可決・全会一致
○常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例.....	原案可決・全会一致
○職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例.....	原案可決・賛成多数
○最低保障年金制度の制定を求める意見書の提出を求める請願.....	不採択・賛成少数
○高齢者の生活実態に見合う年金引き上げを求める意見書の採択を求める請願.....	不採択・賛成少数
○後期高齢者医療制度の廃止に関する意見書の提出を求める請願.....	不採択・賛成少数
○22年度一般会計補正予算(第4号).....	原案可決・全会一致
○22年度下水道事業特別会計補正予算(第3号).....	原案可決・全会一致

委員会審査



総務常任委員会

公の施設の指定管理者の指定（学びの森駐車場ほか7施設）

▼質疑 今回、指定管理者として指定する業者は、緊急時の連絡体制は整っているのか。
▼答 精算機から、メンテナンスセンターへ24時間連絡が取れるようになっている。



連絡用インターホンを備えた精算機

今期定例会で委員会に審査の付託をした25案件について、12月13日・14日の2日間常任委員会を開催し、審査を行いました。
各常任委員会の主な質疑内容は次のとおりです。

▼質疑 指定期間が平成23年4月1日から平成28年5月31日までの5年2カ月だが、この2カ月の意味は何か。
▼答 3月31日までとすると、桜まつりで利用者が多い期間に指定が切れることになり、一時的に利用できなくなることで不便をかけないようにするためである。

平成22年度一般会計補正予算（所管分）

▼質疑 組織統合に伴い、水道部の移転などにかかる費用の総額はいくらか。
▼答 12月補正で996万4千円である。

経済教育 常任委員会

平成22年度一般会計補正予算（所管分）
▼質疑 稲羽東小学校と

鵜沼第二小学校の校舎耐震補強の設計予算が計上されているが、耐震性のある校舎の数は。
▼答 現在、耐震性のある校舎数は、小中学校合わせて、171棟のうち121棟である。

▼質疑 小中学校の体育館の改築が順次進んでいるが、今後の予定は。
▼答 平成23年度に那加中学校の改築を、平成24年度に各務小学校と川島中学校の2カ所を実施する予定である。

民生消防 常任委員会

保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正
▼質疑 鵜沼中保育所民営化の委託法人である石井学園は主に幼稚園を運営しているが、保育とい

う点で問題はないか。

▼答 現在引き継ぎを行っており、石井学園の保育士が2名、鵜沼中保育所で保育に携わっている。1年をかけ、しっかりと引き継いでいきたいと考えている。

廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

▼質疑 ごみ袋の値段に手数料が含まれることになるが、ごみ袋の値段はどうなるのか。
▼答 現在3種類の家庭用ごみ袋があるが、形状・素材などを変更し、コスト縮減をする。

その縮減分を手数料として設定するので、市民への新たな負担はない。

建設水道 常任委員会

水道事業の設置等に関する条例の一部改正

▼質疑 水道部の組織変更に伴い、施設関係の部署は現在の水道庁舎に残すのか。
▼答 施設課浄配水係と維持改良係を残し、水道

施設管理センターという名称で出先機関として位置付け、現水道庁舎で水質管理、緊急工事の体制は維持していく。

平成22年度一般会計補正予算（所管分）

▼質疑 土木費で購入を予定している土地の面積は。

▼答 自衛隊正門から西へ向かう410mの区間の道路整備で、必要とする面積は3440㎡である。

そのほかに、浜見公園の建設を予定しており、面積は1500㎡前後を予定している。

なお、場所については浜見町第一・第二自治会と協議中である。



道路整備予定地（三井東町）

委員会 調査報告

**市議会だより編集委員会
〈期間〉10月28日～29日
「市議会広報の編集に関
する調査」**

○福島県郡山市

郡山市では、全国40市が加盟する中核市議会議長の平成22年度広報コンクールで最優秀賞を受賞した議会広報について研修した。

市民に、手にとって議会広報紙をめくってもらえるように、全体的にカラーを採用した見栄えのいい広報紙となっており、議会への入り口として興味を持ってもらうために、読みやすく分かりやすい広報づくりを編集方針としていた。

紙面は、議員間の公平な掲載に努め、議員が何をしているのか、議員の質問が紙面の大部分を占めていた。

今後、議会が取り組ん

でいることを市民に伝える紙面づくりに取り組みたいとの検討課題があった。編集委員会は掲載事項の確認や原稿のチェックを行っていた。

○福島県会津若松市

広報広聴委員会として、広報分野で議会広報の編集発行、広聴分野で市民との意見交換会を担当しており、広報と公聴をリンクさせていた。

議会は何をやっているのかを中心に紙面を構成しており、議会広報紙は、市民との意見交換会の資料として利用し、議会が市民の意見にどう取り組んでいるのかを市民に伝



会津若松市の議員から説明を受ける

える道具としていた。

会津若松市議会は、議会基本条例を制定しており、議員一人一人の活動の集約が議会活動でなく、議員がまとまり、議会としての市民要望から政策提案ができる議会の構築を目指している。

議員が市民に対して、目に見える活動を行っており、大変参考になる調査内容であった。

議会運営委員会

〈期間〉11月15日～16日

「議会の活性化の取り組み」

○兵庫県宝塚市

これまでの議会改革をより一層推進し、新しい時代にふさわしい議会を目指して改革を進めるため、全議員が参画する「議会改革特別委員会」を平成21年6月に設置し、第1部会「議会基本条例や開かれた議会」、第2部会「議決事項や議会の活性化」、第3部会「議員の政治倫理や資産公開」をテーマに調査検討をし

ていた。

また、議員からの政策的条例案の提出や市長提出議案の修正が活発であり、議会の活性化・充実・強化へ向け参考となった。

特色ある取り組みに、議場を使った市民向けイベントとして、コンサートや講演を開催していた。

その他「予算・決算特別委員会」について視察した。

○兵庫県明石市

市民本位の市議会を確立するため、「明石市議会活性化の取り組み」を策定し、平成21年度までに実施した44項目や年度以降に検討する項目を市民に公表し、「これからの市議会はどうあるべきか、議員はどうあるべきか」をいま一度問い、見つめ直し、議会の活性化における具体的施策の内容や方向性について、進行管理を行っていた。また、各会派ごとに政務調査費収支報告や事業の成果をホームページ上で公開するなど、議会の

様々な活動状況を積極的に発信しており、時代の要請に的確に対応していた。継続的に議会改革に取り組まれている姿勢は参考となった。

その他「決算審査特別委員会」について視察した。



担当から説明を受ける委員（明石市）

議会の活性化が強く求められている今日、議論を尽くして多様な市民ニーズを市政に反映し、政策決定や事務の執行について監視・評価を行うとともに、自らも政策形成・立案に努め、今後も時代の流れに的確に対応し、市民のための「議会の活性化」に取り組んでいかなければならない。

ました。質問をした議員は次のとおりです。

今尾泰造（日本共産党市議団）、太田松次（市議会公明党）

て質問するもので、各会派で作成された原稿を掲載しています。



夢ある都市

和政
クラブ

▼問 新年度予算編成方針は。
▼答 第一に「第2次新総合計画」夢ある都市を軌道に乗せる予算を編成。

市民ニーズに対応した新たな事業を追加、時代の要請に応える事業についても積極的に展開する。

第二に「たくましい財政力」をさらに高める予算編成。

引き続き積極的な事業展開を可能とするため「第2次新行財政改革大綱」に基づき、不断の行財政改革を進める。

また、老朽化する公共施設等の戦略的な延命化・省エネ化に着手する。

▼問 川島地区の排水路計画は。

▼答 木曾川堤防の早期整備を引き続き国へ要望するとともに、雨水計画の見直しを進めていく。

小網ひ管には、内水排除のためのポンプを早急に設置したいと考えている。

▼問 航空機騒音に関して、小網地区は生活環境整備区域にならないのか。
▼答 基地周辺の騒音状況や

運用上の変化に注意を払い、国に対して実態に即した区域指定に見直すよう、粘り強く要望していく。

▼問 川島ふるさと史料館の名称変更に伴い、展示物はどうなるのか。

▼答 川島ふるさと史料館の展示内容を生かしつつ、木曾川の自然、歴史、文化全般について扱う施設としてリニューアルするもので、現在の展示物や収蔵資料は、木曾川文化史料館としても価値の高いものであり、今後とも広く市民に公開するとともに、保存、継承に努めていく。



川島ふるさと史料館の展示物

老朽化した

公共施設の整備を

主民
クラブ

▼問 将来に負担を回さず持続可能な市政運営をしていく上で、老朽化した公共施設の整備、延命化は不可欠。老朽化した公共施設の今後の整備あるいはリニューアル計画は。

▼答 今後の税収の縮小を想定すると、建設投資から維持管理の時代へと移行していくと考えられる。更新時期が集中した場合、厳しい財政をさらに圧迫する恐れがあるため、計画的に延命化を図る。平成23年度は老朽化施設などの延命化や省エネ化に対して特別枠での予算を確保する。

▼問 環境行動を今後も目標に向かって持続していくために、どのように意識の向上を図るのか。

▼答 平成20年度から取り組んでいる「環境行動都市づくり戦略」は、市民、事業者、行政が一丸となって推進した結果、大きな成果を挙げている。今後もごみ減量やリサイクルなどの取り組みの充実、環境施策の点検評価を行い、広く意見を求め、市民へ公表す

ることにより、リデュース、リユース、リサイクルの3Rをさらに推進し、環境意識の高揚を図る。



再生家具の販売（シルバーサロン）

▼問 市の様々な魅力をPRし、団塊世代の定住を促してはどうか。

▼答 第2次新総合計画に掲げた都市戦略を着実に推進し、「夢ある都市」を実現することにより、若者から高齢者まですべての世代の人が住みたい、住み続けたいと思えるまちづくりを行い、人口減少下にあっても、平成32年の目標人口15万人を達成していく。

市政を問う 会派の代表質問

12月8日に各会派の代表質問を行い

川瀬勝秀(政和クラブ)、水野岳男(民主クラブ)、

※代表質問は、各会派の政策・主張に基づき市政に関し

2カ所の土地取得は 違法ではないか

日本共産党
市議団

▼問 那加雲雀町の土地を、道路改良整備の目的で取得。その中には2倍もの目的外の土地が含まれる。

地権者には多額の借金があり競売にかかった。市は切羽詰まった地権者を救済するために契約違反の土地購入をしたのではないか。

▼答 道路改良事業の付帯物である駐車場用地として取得した。用地取得に際しては競売に参加し、落札できるかどうか分からないような不確実な方法はとらない。

▼問 目的外で不必要な土地まで購入し、その譲渡所得税を全額免除した。これは市民に不利益を与える背信行為だ。この土地所有者は、松岡副市長の親族である。親族の窮地を救うため違法な土地取得をし、税金を全額免除したのではないのか。副市長はその責任を取って辞職すべきではないか。

行政判断をするに当たって個人的な事由は一切考慮していない。

▼問 須衛天狗谷の土地取得は、「福祉の里屋外運動場整備」「緑地整備」が目的と言いが、運動場はすでに完成、緑地整備は市が突如9月議会で言い出した事である。事業を2つに分けることであって議会の議決を逃れる手法を取ったとしか言えないが。

▼答 法令に照らし、2つの事業は議会議決の対象とならなかったものだ。

▼問 新総合計画にもない必要のない土地取得をした。目的を後付けし、議会を通さず、1億円を土地取得に充てた。こうした違法と思える土地取得は、市民の不信を大きくしたことで市長にその責任があるか。

▼答 この土地は迅速に購入する必要から「土地開発基金」で取得した。市に対して一切の損害を与えるものではないことから何ら責任問題が生じるものではない。

平成23年度予算要望書より 環境問題

環境問題

会
議
公
明
党

▼問 余暇利用に遊休地、耕作放棄地を市民農園の拡充に利用しては。

▼答 現在4カ所136区画あり、全て利用、現在適地を検討し、拡充に努めている。

▼問 一木草植樹運動について、イベント参加者に苗木、草花を配布し、緑化推進を図っては。

▼答 大規模イベントで、緑化推進委員会と共同で配布中。公園都市を目指す市の緑化推進に寄与し、緑豊かな都市づくりを目指す。

▼問 昨年度の海外留学生は10年前の4分の1に減り、「巣ごもり、内向きな若者」の増大に、日本の未来はない。若者たちの「生きる力」ある人材の育成は。

▼答 市では5年前より「心豊かでたくましい人づくり」に取り組み、小中連携教育の推進、児童・生徒のための予算、各務野立志塾、各務野吹奏楽アカデミー、スーパースポーツスクール、冒険塾等を実施している。

文部科学省、全国からも注目され、今後もさらに推進していく。

▼問 「挑戦する人間」をスポーツは育て、街づくりに大きなエネルギーになるとの認識でスポーツ議員連盟を設立。大きな課題として総合体育館の新設、公認陸上競技場の建設、勤労青少年グラウンドの整備・拡充が必要だと思いが。

▼答 当面の課題として、総合体育館の改修、既存スポーツ施設の維持補修に取り組み。総合体育館、陸上競技場の建設は、中長期的な検討課題である。勤労青少年グラウンド整備は今後も簡易水洗トイレの更新など、年次計画で整備していく。



総合体育館(メインアリーナ)

市政を問う 一般質問

12月8日、9日の2日間、一般質問を行いました。
質問をした議員は次のとおりです。(発言順)
高島寛美子、三丸文也、川嶋一生、横山富士雄、梅田利昭、永治明子、波多野こうめ、杉山元則、三和由紀

水道部門が本庁舎などに移転

緊急時の対応は

▼問 市組織の変更により、平成23年4月から、上水道部門の一部と下水道課が産業文化センターや本庁舎に移転するが、その理由は。

▼答 本庁舎周辺へ水道管理部門を集約することにより、市民サービスを向上させ、さらにスリムで効率的な行政運営を目指していくためである。

▼問 移転により緊急時の対応はどうなるのか。

▼答 漏水などの緊急時の対応は、現水道庁舎に新たに設置する水道施設管理センターで行い、施設の管理と併せ、従来どおりの体制を維持していく。



現水道庁舎(三井東町)

また、大規模災害への対応は、地域防災計画に基づき対処する。

▼問 水道関係業者の利便性は。

▼答 本庁業務との一体化を進めることで、利便性が増すと考えている。

▼問 移転後の水道庁舎の利用計画は。

▼答 現在検討中である。

犬山東町線 バイパス

▼問 犬山東町線バイパスの計画が発表されて以来、20年が経過したが、その後の進行状況は。

▼答 坂祝バイパスとツインブリッジを結ぶ重要な幹線道路であり、周辺の交通渋滞を解消するため早期に整備する必要があると考えている。

ツインブリッジから新鶴沼駅前までの区間は、市事業も視野に入れて詳細設計を実施している。県の状況をよく考慮し



坂祝バイパス

て、市事業の着手時期を慎重に判断する。一刻も早く事業着手できるように、県に対して今後も強く要望していく。

街路樹

▼問 街路樹の植栽管理の状況は。

▼答 通常の管理に加え、緊急雇用創出事業として、高木のすかし剪定、整姿剪定を実施している。すべての街路樹が今年

度末に一通り終了する。
▼問 街路樹の木と木の間の基準は。

▼答 県道路設計要領に基づき、地理的条件や樹木の種類による完成樹形を考慮しながら、車の乗り入れなどの現場状況も踏まえて決定している。

▼問 街路樹は、どのぐらいの高さまで伸ばすのか。
▼答 路線ごとの特性を重視し、高圧線との距離などを考慮し、管理している。

▼問 街路樹沿線の住民への対策をどう考えるか。
▼答 地元住民のご理解、ご協力をいただき、市公共施設緑化マニュアルに従い、適切に管理していく。

▼問 民間地から道路に伸びた植栽の管理基準をどう考えるか。

▼答 管理基準はないが、所有者の責任において対処されるよう市からも願っているが、自治会からもお願いしていただけるようにご協力をお願いしていく。

NHKドラマ「恋するキムチ」

放映効果による観光客誘致策は

▼問 NHK岐阜開局70周年記念ドラマ「恋するキムチ」による集客が見込めると思うが、市の対応は。

▼答 「恋するキムチ」は平成23年2月18日、NHK総合テレビの中部7県で放映される予定で、全国放送も検討されている。「キムチ日本一の都市研究会」や商工会議所の協力のもと、市内飲食店や商業施設において、ドラマのPRやドラマにちなんだキムチ料理の提供



ドラマロケ地となった冬ソナストリート

に積極的に取り組んでいく。

▼問 市内に観光客を誘致する取り組みは。

▼答 ロケ地を表示する案内板の設置やロケ地ガイドマップを作成するほか、ドラマ上映会とロケ風景の写真展、桜まつり、フードフェスティバルでのキムチ料理の実演イベント、野菜の収穫とキムチ漬けが体験できる観光ツアーの開発なども検討している。

特別支援教育

▼問 障がいを持つ子どもへの教育体制は。

▼答 市内には、小中学校合わせて59の特別支援学級があり、すべての学校に設置されている。また、51名の人づくり

講師と23名の特別支援アシスタントを配置し、サポートしている。

▼問 市の目指す特別支援教育は。

▼答 一人一人の社会的自立を第一に考えており、将来の自立のために、どのような教育環境で学ぶことがよいか、子どもや保護者と相談して決めている。

さらに、子どもの状況に合わせて、通常学級との交流教育や共同学習を行い、社会性を養っている。

▼問 小中学校で行っている職場体験学習の成果と今後の課題は。

▼答 小学校では「街探険」や数々の職業学習などを行い、中学校では実際に職場体験を行ったり、様々な職業の方の話を聞くなど、職業に対する理解を深めている。

子どもたちが、引きこもりやニートにならないよう、また、そのような状況になっている若者たちに対して、夢や志をどのように持たせるかが今

後の課題である。

ロンドン五輪最終予選大会

▼問 グリーンスタジアムでのロンドン五輪ホッケー男女最終予選大会の開催が決定したが、大会開催に向けた構想は。

▼答 世界各国から一流選手や観客が集い、多くの市民に楽しんでもらえる絶好の機会である。スポーツを通じた国際交流が深まり、子どもたちに夢と感動を与え、市



会場となるグリーンスタジアム

の活力につながるものと考えている。

多くの市民ボランティアが、世界の人々を温かくおもてなしの心で迎え、「ホッケーの街かかみがはら」、「元氣な各務原市」を広く世界に発信する大会にしていく。

地域伝統文化の保護

▼問 地域伝統文化を文化財とする判断基準はあるか。

▼答 特に重要なものは、国の文化財指定基準に準じて選定し、文化財審議会の意見を聞き、民俗文化財として指定、保護している。

▼問 地域伝統文化に対する助成制度はあるか。

▼答 指定文化財補助金交付要綱に基づき、補助対象経費の2分の1以内の額を補助し、保護・育成に努めている。

公共施設に太陽光発電の推進を

費用対効果など考慮し、導入を検討

▼問 公共施設への太陽光発電設備の設置状況は。

▼答 平成21年度に鶴沼南町会館に設備を設置し、市民の身近なところで活用している。

平成23年度は、太陽光発電も含めた省エネ機器や設備の導入など、費用対効果や波及効果を考えながら検討していく。

▼問 家庭への省電力化推進のために、市独自の助成制度を創設しては。



太陽光発電設備がある鶴沼南町会館

光発電システムなどの設備に対する補助や、家電製品、エコ住宅の新築やリフォームにエコポイントを発行し、家庭での省電力・省エネ化を推進している。

市独自の助成制度は、環境行政における施策の集中化・重点化などを総合的に判断し、検討していく。

民生委員と近隣ケアグループ

▼問 世帯数の多い地域は民生委員を増やし、各自治会に1人にする必要があるのでは。

▼答 厚生労働大臣の定める基準があり、すべての単位自治会に配置することはできない。

今回の改選では、3名

の増員が認められ、212人の定数となっている。

▼問 支援の必要な方の住民情報を民生委員に提供する必要があるのでは。

▼答 県から、住民情報の提供については、本人の承諾を得ることに努めるよう通知されている。

市では、この通知に基づき、担当民生委員に情報を提供している。

▼問 民生委員が抱える広範囲の仕事を見直してはどうか。

▼答 これまでも見直しを行ってきたが、今後も申請事務手続きの簡素化を図るなど、負担軽減に努めていきたい。

▼問 近隣ケアグループの活動状況をどのように把握し、活用しているか。

▼答 現在286団体、1919人の登録がある。活動状況は、日頃の情報収集や活動報告書により把握しており、活発なグループ活動については、研修会などで発表している。

▼問 近隣ケアグループの活動は、民生委員との

連携を目指すべきと考えるがどうか。

▼答 多くの地域で、地域包括支援センターが行う地域ネットワーク会議やコミュニティ会議を通じて情報の共有を図っている。

今後、研修会を通じて地域のつながりづくりの必要性について、一層の啓発をしていく。

学童保育

▼問 学童保育で、障がいを持つ子どもの対応に関して、指導員はどのような研修を受けているのか。

▼答 毎月行う指導員研修の中で、年に1〜2回は障がいを持つ子どもの対応について、特別支援学校や発達支援センターの発達相談員を講師として研修を実施している。

▼問 学童保育の児童数の増加や対応の複雑化で、



学童保育指導員の研修風景

指導員の負担が増加しているが、どう対応しているか。

▼答 指導員を増やして柔軟に対応している。

きめ細やかな対応をするため、子育て支援課の保育士が学童保育室を巡回し、対応の方法を指導するとともに、研修会などで専門性を高めている。

▼問 介護保険の要介護認定者数と保険の利用状況は。

▼答 認定者数は4319人で、そのうち、3705人が介護サービスを利用している。

▼問 認定者の中で、介護サービスを利用しない

理由は。

▼答 614人が利用していない。

その理由は、「利用するほどの状態でない」38%、「家族で介護するから必要ない」23%、「どのようなサービスを受けたいかわからない」13%、「経済的な理由」5%となっている。

▼問 介護サービスを利用していない方への対応は。

▼答 認定の更新時に、サービス利用についての意向を聞き、必要な情報提供や助言をしている。

経済的な理由の場合は、関係部署と連携をとって対応している。

ジェネリック医薬品

▼問 新薬からジェネリック医薬品(後発医薬品)に切り替えた場合、医療費抑制と国保財政の負担軽減になるか。



ジェネリック医薬品希望カード

▼答 国保の年間医療費のうち、調剤分は約2割を占めており、ジェネリック医薬品の利用が進めば、医療費全体の抑制につながると考える。

被保険者の負担軽減とともに、国保財政も一定の抑制効果が期待できる。

▼問 どれだけ薬代が安くなるかわ知らせるジェネリック利用促進通知サービスを取り入れる考えは。

▼答 差額通知サービスは、国保中央会がシステムを構築中であり、平成23年度中には実施環境が整うため、それを待ってから実施を考えている。また、現在、ジェネリック医薬品希望カードを

医療保険課窓口や郵送で交付し、説明パンフレットを配布するなど啓発に取り組んでいる。

▼問 主に母乳から感染するヒト白血球ウイルス(HTLV-1)型(HTLV-1)の抗体検査を妊婦に実施しては。

▼答 14回の妊婦健診に対する公費助成を行っており、今後、検査項目にHTLV-1抗体検査を加えるとともに、妊娠届出時に一人一人の妊婦に説明し、周知していく。

市民税

▼問 住民税非課税世帯の動向は。

▼答 平成18年度の8511世帯から年々増加し、平成22年度は1万194世帯となっている。

▼問 平成23年度の市民税収入の見込み額と平成20年度の比較は。

▼答 平成23年度は、85億4400万円となる見込みであり、20年度と比べると18億6600万円減少し、財政的に極めて厳しいと認識している。

▼問 市民税の減収は、予算編成にどのように影響するか。

▼答 現在、「第2次新行政財政改革大綱」に基づき、組織・業務の全体最適化による行政改革に取り組んでいる。

計画的な基金の取り崩しも視野に入れながら、得られた財源を最大限に有効活用していく。

豪雨対策

▼問 豪雨への対策は。

▼答 降雨状況や河川水位などの防災情報を収集し、状況に応じて現場を巡回している。

また、緊急対応が必要な危険箇所があれば、消

防署や地域の業者と連携し、土のうを積んだり、ポンプにより排水を行うなど、災害の未然防止に努めている。



消防職員による土のう積み訓練

▼問 地形状況などで浸水が想定される場所の対策は。

▼答 雨水計画に基づき、過去に浸水被害があった場所から優先的に排水路の整備を進めている。

▼問 平成18年4月に配布した防災ハンドブックの活用は。

▼答 広報紙の防災特集でその活用を啓発している。さらに各地域の自主防災訓練や総合防災訓練の自治会説明会などで利用している。

『子どもの幸せを願って!』

私は言葉の発達の遅い子のカウンセリングをしています。

①テレビ・ビデオ・CD等の機械音を乳幼児に聞かせない。

②脳の発達に必要な栄養補給をする。

③行動療法を教える。

などのアドバイスで、2〜3歳の早期ならば劇的に改善する子が多くみえます。

脳のトラブルを完治するには、大変な努力が必要で、少しでも予防できたらすばらしいことです。

私自身が経験した言葉の発達の遅い子とのカウンセリング例を「脳を元気にすると、発達障がい が治っていくよ!家庭で すぐに取り組める広汎性 発達障がい・改善の記録 !」にまとめました。

「乳幼児や言葉の発達 の遅い子に機械音を除く」と言うことは、「科学的 根拠がない!」と反対す

る学者も多いのですが、賛同する学者は徐々に増えています。

最近、子どもたちの問題の多くに発達障がい が関わっていることを、専門家から発表されていま す。

発達障がいの症状である「コミュニケーション や社会性の弱さ」を持つ

市民の声



那加長塚町 浅野 幸恵さん

て生きる人生は、つらい ことです。

不登校も引きこもるこ とも、心を病むことも、 苦しい試練です。

厚生労働省によると引 きこもりの推定は25万5 千世帯といえます。

「引きこもる人たちの 4分の1には発達障がい が関与している」という 記事がありました。

また、日本小児科学会・小児科医会が、「2歳までのテレビ・ビデオの視聴は控えましょう」などの提言をしました。

発達障がいの予防のため、この提言を子育て中の親さんに知ってもらいたいと思います。

そうすることで、発達障がいの子どもたちが、かなりの割合で改善し、何年か先には、不登校、引きこもる青少年や成人、うつ病、虐待なども減少すると思います。

ぜひ、子どもたちの発達障がいも少しでも改善するために、啓発活動を市議会から提案してほしいと思います。

一人でも多くの子どもとお母さんが幸せに!と願っています。

ご意見をお寄せください。

市議会の様子を市民の皆さんに分かりやすくお伝えできるよう、紙面内容の充実、工夫に努力します。皆さんのご意見・ご要望をお寄せください。

ご覧になりましたか、議会中継

本会議の様子をインターネット中継(ライブ・録画)しています
市ウェブサイト「市議会」からアクセスを
<http://kakamigahara.gijiroku.com/video/>
次の定例会は、2月28日開会予定です。



議会素描

▼部署の統廃合は行政のスリム化・効率化を図るもの。どんな効果がでるか今後の行政をチェックしていきたい。

▼第二次新総合計画を軌道に乗せ、同時にたくましい財政体力をつけていくのが来年度のテーマ。幅広い市民要望に対し、どう応えていくのが課題となる。

▼緊急経済対策の関連の予算が飛び込んだ12月議会。公共事業にも拍車がかかり、市財政にとってありがたいが、厳しい経済状況と裏腹であることを忘れてはならない。
▼将来につけを回さない市政の実現を強く願いたい。
▼議会傍聴者も品位を持つて傍聴を願います。

市議会だより編集委員会

◎高島貴美子

○川嶋一生

水野岳男、池戸一成

杉山元則、梅田利昭

(◎委員長、○副委員長)



大豆インクを使用しています。